



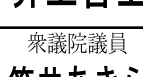
市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



衆議院議員
藤野保史



参議院議員
たけだ良介



衆議院議員
井上哲士

来年度県予算に要望交渉

日本共産党
富山県委員会



日本共産党富山県委員会は11月5日、6日、市民要求をもとに来年度予算に関する252項目の要望交渉を
県議会第二委員会室で行いました。小矢部市から砂田市議が参加しましたので、その概略を報告します。

国保税の子ども均等割廃止を

【要望】国民健康保険税の子どもにかかる均等割を廃止すること。均等割廃止に伴う財源措置は国に要求するとともに、それが実現するまでは県と市が財政負担をして実施すること。小矢部市としても市の重点要望に掲げている。

【厚生企画課】全国知事会を通じて国に対して要望している。県等による独自の助成措置については、国保制度全体で改善すべきと考えており、国に対して要望を続けている。

【砂田市議】公務員共済や他の健康保険では子どもが増えても保険料は高くない。国保だけが高くなる。これはおかしいのではないか。子育て支援に逆行する。小矢部市での議論では、保険料を将来県内で統一することになったらどうなるか、「小矢部市が廃止し」としても、全県で統一したらまた値上げに

なったでは困るではないか」と言い訳された。だから県として廃止してもらいたい。だいたい、国はなかなかやろうとしないから、富山県として率先してやったらどうか。保険料の全県統一はやるべきではないが、仮に統一にしても、「小矢部市の独自の施策を止めろ」とは言わないことを求める。

【厚生企画課】近々に保険料の統一というのはそんな簡単なものではないが、将来そういう議論をしていくなかでオリジナルな対策についてそのまま通るかどうかがというのは、その時の議論次第であると思うが、今の場から「市からの独自の施策を止めろ」と絶対に言わない」とは言えない。

【火爪県議】今この場で言えないということならば、相談したうえで回答してほしい。

国保税、介護保険料、後期高齢者医療保険料 コロナ禍で収入3割減なら減免される その他の場合でも減免できるように拡充を

【要望】失業などにより収入減少した人への国保税、介護保険料、後期高齢者医療保険料などの減免制度を拡充すること。コロナ禍で3割減を減免の対象としたことは、その他の事情でも3割減なら各種保険料の負担が厳しいことになり、高年齢で体調不良で働き続けられなくなったのに、7割減収でない減免されないことが問題だ。前年の収入をもとに保険料額が決まるが、今年収入が半分になっても前年の基準で保険料を年金から天引きされる。この改善が必至である。

【厚生企画課】市町村が条例で減免できることになっている。【高齢福祉課】コロナの場合は国からの特別調整交付金の対象になっている。収入が減少した場合に、介護保険の各保険者の方で減免措置の対応をしている。

【砂田市議】貯金などの蓄えのない人はたいへん困っている。この改善は極めて切実だ。県としても改善するように各保険者へ働きかけてもらえないか。収入が減少した場合の各保険者の救済策の実情を調べて報告してもらいたい。

特定健診受診率に人間ドックなどの健診も反映を

【要望】国民健康保険制度における特定健診の受診率に、人間ドックなどによる健診を反映させる制度をつくること。

【厚生企画課】人間ドックなどの健診結果を証明する書類を本人の方から提供してもらって反映させていく。これによって受診率の向上に努めていく。



砂田市議 厚生労働大臣表彰を受賞



砂田市議が国保運営協議会委員として通算21年5カ月つとめたことで厚生労働大臣から国民健康保険関係功労者として表彰されました(写真)。11月9日に県庁厚生部長室で伝達式がありました。砂田市議は寄せられたお祝いの言葉にこたえ、フェイスブック、ツイッターなどSNSで10日、次のようなメッセージを載せました。

今朝から、新聞報道を見て、私が国保関係で厚生労働大臣表彰を受けたとのことのお祝いのメッセージをいただきました。感謝しています。

県厚生部長から伝達されたのですが、その際に、私から「子どもの均等割廃止に県としても努力を」とお願いしました。ふり返りますと、国保税引き下げの署名運動(1987年4762名の署名)や、白内障の眼内レンズに保険適用を(1992年4月より実施)、子ども医療費の病院・医院での窓口負担をなくすこと(2008年10月より、小学6年生まで、但し所得制限あり。その後対象年齢拡大、所得制限撤廃)、それを呉西地域全体に広げること(2017年4月より)、リーマンショックのときに収入減した人の国保税減免制度の改善(2011年度)、特定健診の改善、子どものためのインフルエンザ予防接種の助成など、医療と健康を守るために努力してきました。これからも引き続き努力していきます。